



日中45周年プロジェクト 蘇州・無錫

広告



明の万暦年間に造られたという清名橋(無錫)



夜も賑わいを見せる山塘街は明代の町並みが再現されています(蘇州)



水上観光コースも楽しめる清名橋運河景区(無錫)



蘇州・陽澄湖産が最高級とされる上海蟹



歴史文化街区として整備されている平江路沿いの小路(蘇州)

唐代の詩人張継の漢詩「楓橋夜泊」に「姑蘇城外寒山寺」と詠まれた寒山寺を持つ蘇州

歴史文化街区で水郷古鎮をアピール レトロモダンな蘇州・無錫の新たな魅力

「中日国交回復45周年」を迎える今年、蘇州市

観光局では、平江歴史文化街区(平江路)と山塘歴史文化街区(山塘街)の2つを前面に打ち出し、改めて「水の芸術の都市」としての蘇州をアピールする方針です。

紀元前514年に呉王が江蘇城を築いて町の発展が始まったと言われる蘇州の歴史は、既に2500年以上の歳月を重ねています。運河にぐるり

と囲まれた市街には、ところどころに古びた城壁も残され、小さな運河が縦横に走り、太鼓橋の下を小船がゆったりと進む様子は、まさに「東洋のベニス」という形容がぴったりです。

外域河の内側で拙政園と千将東路を結ぶ平江路沿いの小路が歴史街区として整備されており、柳並木が川面に映る平江河沿いの南北1.5キロほどの小路には風情ある茶館やカフェ、ショップなどが点在しています。石橋の架かる平江河では手漕ぎの遊覧船なども運航されていますが、平江歴史街区はそぞろ歩くのにちょうどいい散策路です。

山塘歴史文化街区では、明代の呉国地域の特色を残す山塘の往年の姿が山塘河沿いに再現されています。運河の東側には伝統演劇舞台の古戯台や茶館、老舗レストラン、ギャラリーなどが並び、趣き深い雰囲気漂います。最近では、風情ある景観を背景に、衣装を整えてポトレート撮影してくれるスタジオなども増えています。

レトロな雰囲気の「運河古邑」

北に長江が流れ、南に太湖を臨む無錫は、3000年以上の歴史を持つ水郷都市です。漁業とコメの収穫が豊富な土地で古くから「魚米之郷」と称される一方、錫の産地としても知られました。しかし、漢の時代に錫は採掘され尽くしてしまい、「無錫」の名で呼ばれるよう

になったという歴史を持ちます。

市内中心部の南側にある南長街一帯は古い町並みが残る老街で、清名橋古運河景区と呼ばれ、運河とともに観光スポットとして注目されるようになってきました。全長5.5キロという運河の中で

は、明の万暦年間に造られたという清名橋が知られており、運河沿いには白い壁と青い瓦の民家が軒を連ねます。

運河沿いに建ち並ぶ商業街は「運河古邑」と呼ばれ、世界的なチェーンのカフェもレトロなたたずまいの建物に入り、運河周辺の雰囲気を損ねない落ち着いた街並みを形成しています。



無錫にある「三国志」のテーマパーク「三国志」



落ち着いた町並みは「運河古邑」とも呼ばれます(無錫)



蘇州四大名園の一つに数えられる獅子林



「蘇州夜曲」で歌われた寒山寺は改修され境内も広くなりました

中国国家観光局 駐日本代表処